

金融のしくみ



(i) 通貨と通貨制度

■ 通貨(貨幣) (出回っているお金のこと)

- [¹] (紙幣、硬貨)
- [²] (普通預金、当座預金)

貨幣の機能	内容
3	財やサービスの価値を測る基準となる
交換手段	財やサービスの交換の仲立ちをする
支払手段	債権や債務の決済を行うことができる
4	貯めておくことや、いつでも財やサービスと交換できるよう保存できる

Column 💡 お金の無い時代はどうしていた…?

自給自足の生活をしていた頃は、欲しいものがあれば物々交換による取引しかできなかった。しかし、自分の欲しい物と相手が交換したい物とがあわないことがよくあり、「誰もが欲しがらる・集めたり分けれる・持ち運びがらくで保管できる」といった条件をもつ物を交換のなかだちとして用いるようになった。日本では砂金、布などが多く用いられたが、中国では美しい宝貝をお金として用いていた。こうしたことから、お金や経済に関係する漢字は貝のつく字が多くある。

■ 通貨制度

[背景] 貿易をしたいが価値の統一が難しい。⇒ 全世界共通の価値を持つものはないだろうか…

⇒ 最大の輸出国イギリスの呼びかけにより世界共通の価値を定めようとした。それが……

* [⁵] : 中央銀行が金との交換を保証した [⁶] を発行

つまり、「金の価値 = 通貨の価値」となった。

- [メリット 通貨の価値 = 「金」の価値のため、通貨の価値が安定する]
- [デメリット 「金」の保有分しか通貨の発行ができず、融通が利かない]



1929年に [⁷] が発生したが、通貨量の調整により景気回復をすることができず各国が金本位制の限界を感じる。→ 多くの国で管理通貨制度への変更を検討。

* [⁸] : 金との交換を保証しない [⁹] を発行

つまり、金の保有量に縛られずに紙幣を発行できるように。

- [メリット 通貨量を自由に調整し、金融政策ができる]
- [デメリット 過剰に通貨を発行することで、インフレを引き起こす可能性も]

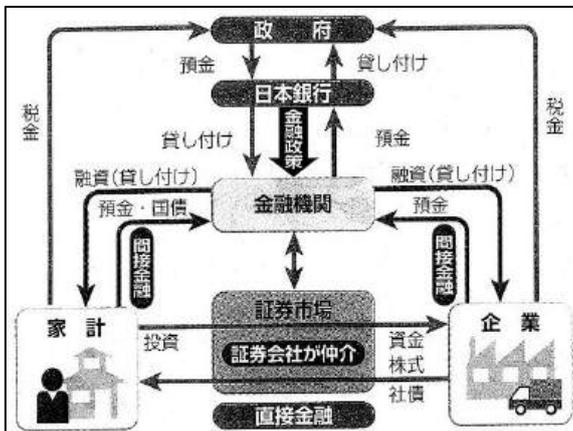
・ [10]

]：個人や一般法人、地方公共団体などが保有する通貨量の残高
つまり、社会全体に出回っているお金の量のこと。

(ii) 金融市場と金融機関

金融 =

■ 金融の循環



市場の種類

[11]]：資金の貸し手と借り手の間で
資金を取引する市場

[12]]：株式や債券などの有価証券を取引

資金の調達方法は2種類に分けられる

[13]]：株式や社債を発行し、家計から
直接的に資金を集める方法

[14]]：銀行などの金融機関を通して
間接的に資金を集める方法

+a 銀行は金利で儲けている！

※金利とは=借手が貸し手に資金を融通してもらった時に、お返しとして払う利子の割合

例：金利 0.01%で預金業務
金利 3.0%で貸出業務



発展問題💡 信用創造とは何か

銀行は、預金を貸出にまわすことを繰り返し、最初の預金の何倍ものお金を作り出すことができる。
このしくみを [15]] という。 (例)Aさんが100万円を預けたとする

金融機関は、預かったお金を他に回すことを
繰り返し、元のお金よりも多くのお金を作り出す。

でもそれだとAさんのお金がなくなるんじゃないか？
と思うかもしれないが、お互いの信頼によって成り立つ。
銀行はBさんに対して「貸した分は返ってくる」と信用し、
Aさんも銀行を信用しているからすぐ引き出すこともない。
この信用のもとで、眠っているお金を回すことができる。



しかし、全て回すといざという時のお金が無くなってしまふので、銀行は預金を受け入れた時に
その一部を [16]] として残す必要がある。

金融のしくみ



(i) 通貨と通貨制度

■ 通貨(貨幣) (出回っているお金 のこと)

- [¹ **現金通貨**] (紙幣、硬貨)
 [² **預金通貨**] (普通預金、当座預金)

貨幣の機能	内容
³ 価値尺度	財やサービスの価値を測る基準となる
交換手段	財やサービスの交換の仲立ちをする
支払手段	債権や債務の決済を行うことができる
⁴ 価値貯蔵手段	貯めておくことや、いつでも財やサービスと交換できるよう保存できる

Column 💡 お金の無い時代はどうしていた…?

自給自足の生活をしていた頃は、欲しいものがあれば物々交換による取引しかできなかった。

しかし、自分の欲しい物と相手が交換したい物とがあわないことがよくあり、

「誰もが欲しがらる・集めたり分けれる・持ち運びがらくで保管できる」といった条件をもつ物を交換のなかだちとして用いるようになった。日本では砂金、布などが多く用いられたが、中国では美しい宝貝をお金として用いていた。こうしたことから、お金や経済に関係する漢字は貝のつく字が多くある。

■ 通貨制度

[背景] 貿易をしたいが価値の統一が難しい。⇒ 全世界共通の価値を持つものはないだろうか…

⇒ 最大の輸出国イギリスの呼びかけにより世界共通の価値を定めようとした。それが **金**…

- * [⁵ **金本位制**] : 中央銀行が金との交換を保証した [⁶ **兌換紙幣**] を発行
 つまり、「金の価値 = 通貨の価値」となった。

- [メリット 通貨の価値 = 「金」の価値のため、通貨の価値が安定する
 デメリット 「金」の保有分しか通貨の発行ができず、融通が利かない



1929年に [⁷ **世界恐慌**] が発生したが、通貨量の調整により景気回復をすることができず
 各国が金本位制の限界を感じる。→ 多くの国で管理通貨制度への変更を検討。

- * [⁸ **管理通貨制度**] : 金との交換を保証しない [⁹ **不換紙幣**] を発行
 つまり、金の保有量に縛られずに紙幣を発行できるように。

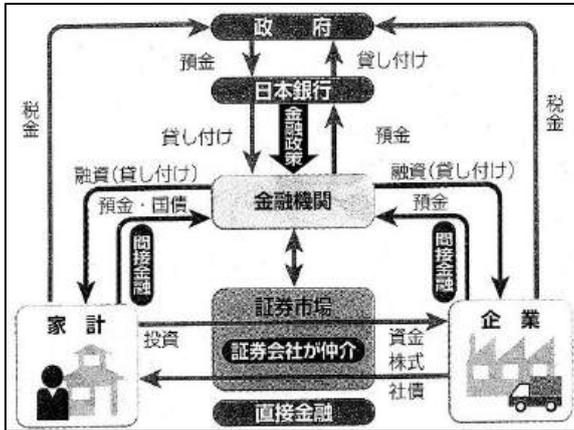
- [メリット 通貨量を自由に調整し、金融政策ができる
 デメリット 過剰に通貨を発行することで、インフレを引き起こす可能性も

- ・ [10 **マネースtock**] : 個人や一般法人、地方公共団体などが保有する通貨量の残高
つまり、社会全体に出回っているお金の量のこと。

(ii) 金融市場と金融機関

金融 = 資金に余裕のある経済主体が、不足している経済主体と資金を貸し借りすること

■ 金融の循環



市場の種類

- [11 **金融市場**] : 資金の貸し手と借り手の間で資金を取引する市場
- [12 **証券市場**] : 株式や債券などの有価証券を取引

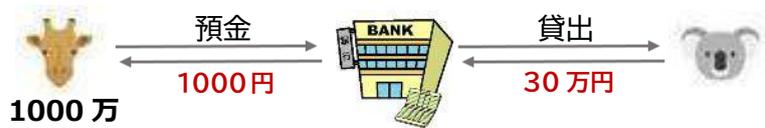
資金の調達方法は2種類に分けられる

- [13 **直接金融**] : 株式や社債を発行し、家計から直接的に資金を集める方法
- [14 **間接金融**] : 銀行などの金融機関を通して間接的に資金を集める方法

+a 銀行は金利で儲けている！

※金利とは=借手が貸し手に資金を融通してもらった時に、お返しとして払う**利子**の割合

例：金利 0.01%で預金業務
金利 3.0%で貸出業務



発展問題💡 信用創造とは何か

銀行は、預金を貸出にまわすことを繰り返し、最初の預金の何倍ものお金を作り出すことができる。このしくみを [15 **信用創造**] という。

金融機関は、預かったお金を他に回すことを繰り返し、元のお金よりも多くのお金を作り出す。

でもそれだと A さんのお金が無くなるんじゃないか？と思うかもしれないが、お互いの信頼によって成り立つ。銀行は B さんに対して「貸した分は返ってくる」と信用し、A さんも銀行を信用しているからすぐ引き出すこともない。この信用のもとで、眠っているお金を回すことができる。



しかし、全て回すといざという時のお金がなくなってしまうので、銀行は預金を受け入れた時にその一部を [16 **預金準備金**] として残す必要がある。